

# こんにちは 保健師です インフルエンザに 負けない!!



TEL 292-5505(直通)

毎年流行を繰り返すインフルエンザは、低い気温と乾燥した空気を好み、この時期に活性化します。2009年から猛威をふるった新型インフルエンザの流行も沈静化し、普通のインフルエンザとして扱われることになりました。「インフルエンザのことは知っているわ」などと油断せずインフルエンザに負けない予防法を身に着け実践しましょう。

- 免疫力アップでインフルエンザに負けない!**
- ① 食事 栄養バランスをよくして体力を落とさない
  - ② ストレス オンとオフを上

手に切り替えてストレスをためない

③ 睡眠 疲れはその日のうちにとる

④ 服装 首、手首、足首を温めて体を冷やさない工夫をする

⑤ 運動 適度な運動で抵抗力をアップ

⑥ 環境 室温は20度、湿度は50〜60%に

⑦ 禁煙 禁煙で呼吸器粘膜を正常にたもつ

**手洗いでインフルエンザに負けない!**

インフルエンザはインフルエンザウイルスが鼻やのどの粘膜に付着することで感染しています。流行期は周りに咳をしている人がいなくても、インフルエンザウイルスがドアノブやスイッチなどについていることもあります。手洗いは、石鹸をよく泡立て手のひら、



手の甲、指の間、爪や指先、手首をしっかり洗いましょう。

**予防接種でインフルエンザに負けない!**

インフルエンザの流行のピークは、1月から2月にかけてです。それに備えるためには10月中旬から12月上旬までに予防接種を受けるのが効果的です。

町では65歳以上の方(60歳以上で特定の機能に障害を有する方を含む)に助成を行っています。詳しくはお問い合わせください。

(担当 浅野)



## 「すくすく」情報

「すくすく」は子育て中の親子が自由に集える場所です。気軽に遊びに来てみませんか?

越生町子育て支援センター  
「すくすく」(山吹保育園敷地内)

TEL 292-5684

## 「すくすく」キッズ



ほそだ かずき  
細田 一樹くん(1歳)  
如意

いつもニコニコ笑顔なので、誰にでも可愛がってもらえるカズくんです。

※掲載をご希望の方は「すくすく」までご連絡ください。

- 開所日時 月〜金曜日  
午前9時〜午後4時
  - 事業内容  
・ 園庭開放(午後3時30分まで)  
・ 子育て相談(随時)  
・ その他、各種イベント
- ※「すくすく」は、町の委託を受け、山吹保育園が事業運営しています。

◎町のホームページに「すくすく」のコーナーを開設中、アクセスしてね!

## あそぼう会

● 11月4日(金)

スライムあそび  
プニユプニユの感触を  
楽しもう!

午前10時30分〜11時30分



「あそぼう会」は誰でも自由に参加できるイベントです。

## 出前保育

● 16日(水) 地域交流センター  
午前10時〜正午

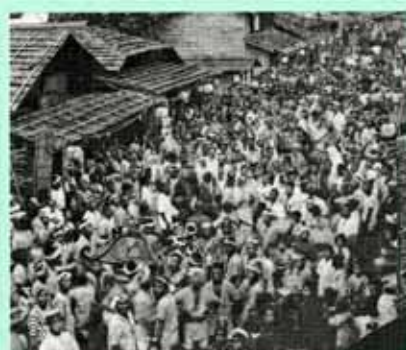
自然越生  
歴史浪漫

35

越生神社神輿が  
町指定文化財に

毎年7月に開催される越生まつり。「天王様」の名前でも親しまれており、お祭りの山車や神輿、お囃子は、越生にとって欠かせない夏の風物詩です。その越生神社の3基の神輿が、平成23年9月28日付で、町指定文化財（有形民俗文化財）となりました。

越生神社は、旧越生村（今市村）村社の八幡神社、日吉神社・八坂神社、黒岩の村社である八坂神社のほか、現市街地に点在していた社を合祀して、明治42年に現在地に新たに造営されて出来た神社で



八坂神社大祭（明治41年7月13日撮影）

す。3基の神輿のうち、一番大きい本宮は今市村八坂神社置宮である中宮は黒岩村社の八坂神社にあつたものとして伝わっています。合祀前年の明治41年撮影の「八坂神社大祭」に神輿が写っており、百年以上も前から大切に守られてきたことがわかります。

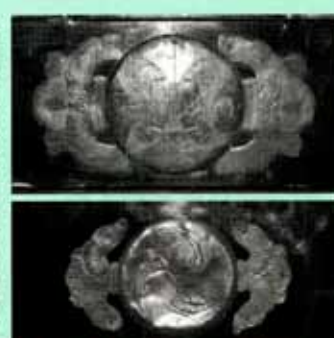
指定に際して、社寺建築研究者である山田岳晴先生（國學院大學伝統文化リサーチセンター客員研究員）に神輿を調査して頂きました。山田先生によると、3基の神輿は建造年代が明治初期もしくは江戸末期に遡る可能性が指摘されました。また、台輪紋と呼ばれる台座部分の装飾金具にも特徴がありました。本宮には八坂神社（＝祇園社）の社紋である祇園守紋が飾られています。若宮には八幡神社の社紋である三巴紋が付いていることから、この神輿は元来今市村の八幡神社の神輿であったことが想定出来ます。中宮は、祇園守・三巴、両方の紋が付いています。

3基の神輿は他地域の神輿と比較しても遜色ない工芸品であり、越生神社の歴史を語るうえでも貴重な資料です。

また、山田先生の調査により、西和田の尾崎に祀られている神輿は、越生神社の神輿より古い可能性が指摘されました。今後調査を続けます。



越生神社神輿（左から若宮・本宮・中宮）



上：祇園守紋 下：三巴紋

先月紹介した長徳寺の半鐘は、11月から図書館でしばらく展示する予定です。この機会には是非御覧ください。



「新しいスタイル」の通信制高校それが、

「清和学園高等学校」です！  
清和学園高等学校は、意欲のある人がいつでも高校教育を受けられる学校、また学び直しのできる学校として平成16年4月に開校し、今年で8年目を迎えました。地元からの入学者も年々増え続け、募集定員の360名を確保することができままでになりました。設置学科は、「自動車科」と「普通科」の2学科です。本来通信制高校は、自宅での「自学自習」が学習のスタイルとして定着していますが、清和学園高等学校では、今までにない柔軟な学習システムを採ることにより、生徒が毎日登校でき、個別に学ぶことができる「新しいスタイル」の通信制高校です。特に自動車科は、通信制高校では、全国唯一の「自動車整備士国家資格」が実技免除で取得でき

る学科でもあります。また普通科では、様々な「生活歴」「学習歴」を持つ生徒に柔軟に対応できるカリキュラムを用意しています。「学習活動を支える三つの力」のうちの一つ、小中学校時代学校に馴染めなかった生徒でも、やればできるという自信（自己効力感）「がんばる力」が身に付くような生徒主体の「ゼミナール」を毎週2日間（週12時間）設け、得意分野での単位取得も可能にしています。他の2つの力（自己統制）「つづける力」（メタ認知）「ふりかえる力」も単位制の特色を生かして、個々の生徒の資質・能力を積極的に活用しています。「教師が変われば生徒は変わる」を合言葉に、地元の皆様から信頼される学校づくりを目指し、教職員が心を一つに日々取り組んでいます。

「新しい自分探し」のできる学校それが、清和学園高等学校です。

